

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 2月27日更新

事務事業名	スポーツイベント開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 岐部 則夫
体系	施策	22	生涯スポーツの推進		所属課	生涯学習課	担当者名 毛利 一生
	施策の柱	71	スポーツへの参加機会の提供		所属班	スポーツ振興班	(内線) 1519
予算科目	会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10772	根拠法令 スポーツ基本法	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>・スポーツ推進委員主催で、6月に『各地区対抗ニュースポーツ大会』、10月に『スポーツフェスティバル』、翌1月に『合志市民健康カントリーマラソン大会』、3月に『春ウォークラリー大会』の全4大会を開催。</p> <p>10月の『スポーツフェスティバル』では、体育の日を中心に、合志市体育協会加盟の各種目協会主催での大会も別途開催。</p> <p>『スポーツフェスティバル』は、合併以前に旧町で行われていた「町民体育祭」に替わる事業として開始した。合志市でも旧町で行われていたような体育祭を行うかどうかの検討をおこなったが、人口に対する開催場所の問題、地区対抗に係る旧町単位での構成の違いなど課題が多く、現行の大会開催に至っている。</p>
【業務の流れ】	<p>◆各地区対抗ニュースポーツ大会 会場確保→推進委員会にて、大会概要を決定→募集チラシの作成→回覧にて各区分への参加呼びかけ→消耗品、賞品等の発注→対戦表作成・保護加入等の大会運営準備→体験会の開催→会場の前日準備→大会の開催→片付け→広報</p> <p>◆スポーツフェスティバル 会場確保→推進委員会にて、大会概要を決定→募集チラシの作成→回覧にて各区分への参加呼びかけ→消耗品、賞品等の発注→対戦表作成・保護加入等の大会運営準備→体験会の開催→会場の前日準備→大会の開催→片付け→広報</p> <p>※合志市体育協会加盟団体関係等は次のとおり 体育協会種目団体に協力呼びかけ→広報にて募集案内→開催団体から体育協会へ補助金申請→補助金支払→各団体から大会開催</p> <p>◆合志市民健康カントリーマラソン大会 会場確保→推進委員会にて、大会概要を決定→後援・協賛等を依頼→募集チラシ・ポスター作成→全戸配布にて参加呼びかけ→消耗品、賞品等の発注→会場施設および後援・協力団体の打合せ→保護加入等の大会運営準備→会場の前日準備→大会の開催→片付け→広報</p>
【主な予算費目】	・報償費、消耗品費、印刷製本費、役員費、使用料および賃借料、
【意見や要望】	<p>◆各地区対抗ニュースポーツ大会 これまで区内で行っていたスポーツ行事を取りやめて、本大会に参加するように変更した区が出てきており、大会を拡充・継続を希望する声がある。また、『ニュースポーツ』大会であるため、競技種目を固定化せず、数年毎に変更することが望まれる。認知度が高まり、競技人口が増えた種目については、種目協会として立上げおよび体育協会加盟を促す等のステップアップする必要との声がある。</p> <p>◆スポーツフェスティバル 共催された体育協会加盟の種目協会からは、開催場所が無料になる、市が広報などを行ってくれるなどメリットが大きいという意見がある。</p> <p>◆合志市民健康カントリーマラソン大会 現在、1.5~6.0kmのコースで運営しているが、距離の延長(最も多いのが10kmコースの新設)を希望する声が多い。</p> <p>◆春ウォークラリー大会 住宅地の拡大に伴い、住宅地内をコースとして通ることが増えている点や、同時期に市内外でのウォーキング～ランニングイベントが増加している点から、大会自体の見直しを希望する声が増えている。</p>

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	◆平成27年度は、次の日程で開催。 各地区対抗ニュースポーツ大会 平成27年6月6日に開催。参加人数555人。実施種目は、ふらふらボールバレーとカラーリング。 スポーツフェスティバル 平成27年10月10日に開催。参加人数482人。実施種目は、ビーチボールバレーとベタタク。 合志市民健康カントリーマラソン大会 平成28年1月9日に開催。参加人数70人。 春ウォークラリー大会 平成28年10月14日に開催。参加人数88人。ひまわり公園を基点とした舟山を回るコースで開催。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 6月に各地区対抗ニュースポーツ大会、10月にスポーツフェスティバル、翌1月に健康カントリーマラソン大会、3月に春ウォークラリーの4大会を開催。 10月のスポーツフェスティバルでは、体育の日を中心に市内の各種目協会等の主催での大会も実施。 各地区対抗ニュースポーツ大会およびスポーツフェスティバルの実施競技については、スポーツ推進委員会にて協議の上、決定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由 平成27年度に実施した夏期巡回ラジオ体操会を平成28年度は実施しないことによる減。
→ ア 参加者数		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市民および市内在勤者	→ ア 市民及び在勤者	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・市民、在勤者の健康増進、親睦融和を図る。	→ ア 参加率	
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
・市民の健康増進と親睦を目的としているので、できるだけ多くの市民が参加することが望ましいため。また、健康と親睦は数値化することができないため。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア 人				1,600	1,696	1,000	1,000	1,700	1,700	
	イ										
② 対象指標	ア 人				61,000	60,008	61,100	62,000	62,500	63,000	
	イ										
③ 成果指標	ア %				2.8	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円			945		650	650	650	650
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円			1,387	1,906	1,535	1,535	1,535	1,535
		(A) 事業費計	千円			2,332	1,906	2,185	2,185	2,185	2,185
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円			0	2,970	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円			2,332	4,876	2,185	2,185	2,185	2,185		

事務事業名	スポーツイベント開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 大会を開催できない種目協会があった。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 継続して、各区への参加依頼を行っていく。また、共催種目大会については、期日が重ならないよう早めに期日の決定を種目協会へ依頼する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 共催種目協会の大会は、期日の調整を早めに行うことで参加者が増える可能性がある。市主催のフェスティバルは、毎年参加している区では参加者が増える傾向にある。まったく参加しない地区が多いため、それらの地区が参加するようになれば、参加者が増加する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成27年度からは、合志市民健康マラソン大会開催事業、春ウォーキング大会開催事業を統合し、スポーツイベント開催事業と変更。他の課やウェルネスシティ等の他団体等が実施している類似したイベント等との統廃合の検討が可能。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 類似する他事行を統合することにより、必要経費の削減につながる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 類似する他事業と統合することにより、支払手続き等で一括できる業務ができ、人件費を削減できる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 各種目団体で行われる大会についてはそれぞれ参加費を徴収されているが、市の開催事業分については各地区誰でも無料で参加できる大会となっており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各種目団体の大会運営はそれぞれの団体に完全に移行している。各地区でのイベントを市の行事で代替することを検討する区もあるが、その一方で、各地区にスポーツイベントのリーダーができれば、役割の移行ができる。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

スポーツフェスティバルの開催時期である10月は、多くの大会が予定され、場所の確保・各団体の調整が必要である。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(ACTION)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <b>スポーツ推進委員を最大に活かせる事業の検討が必要である。</b>	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						